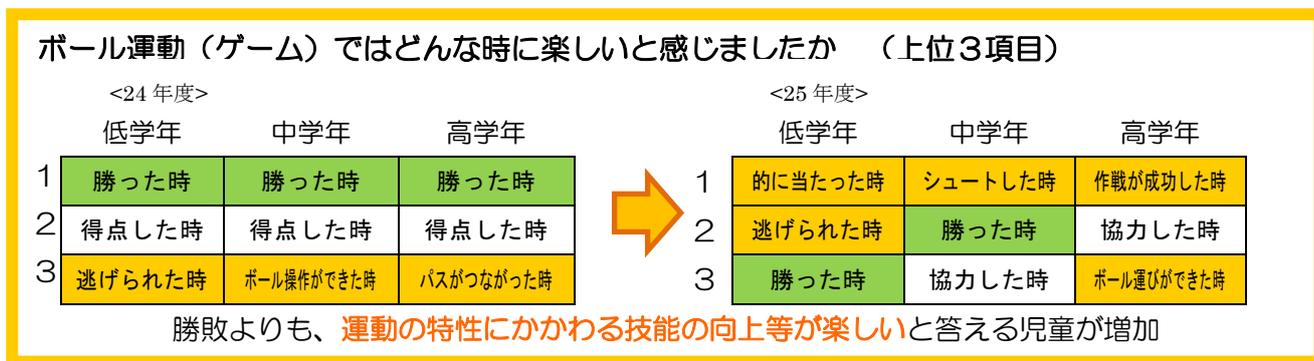
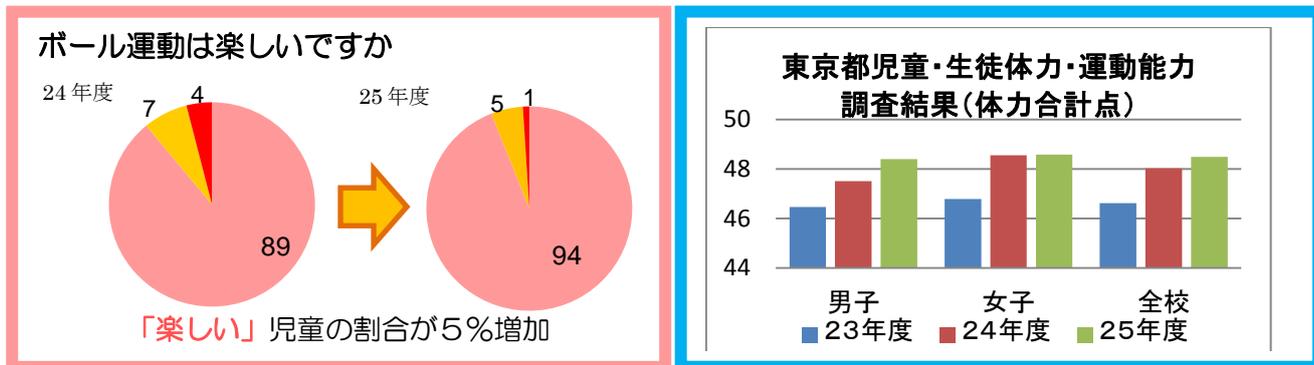


3 研究のまとめ

各学年の研究授業後のアンケート、平成 24・25 年度の一斉アンケート、東京都児童・生徒体力・運動能力調査、の結果から成果と課題を考察した。

(1) 成果



- ① 学習過程、ゲーム設定の工夫、教師の指導助言の工夫 によって
 - ・運動、体育、ボール運動(ゲーム)が楽しいと答える児童の増加(好きでない児童の減少)
 - ・全ての学年において勝敗ではなく、運動の特性にかかわる「技能」が楽しいと答える児童の増加
- ② 作戦タイム・振り返り・練習の充実 によって
 - ・チームの協力や、作戦実行が楽しいと答える児童の増加(中学年から増え、高学年では総計の半分に至る。)
- ③ 淀四ギネスをはじめ業間体育等の充実 によって
 - ・男女とも体力が向上(特に、遠投力、持久力が向上している。)

(2) 課題

- ① 児童に「運動の特性」を味わわせるための簡単なゲームを改善・開発していく必要がある。
- ② チームや個人の課題を、練習や作戦につなげるための指導や支援の工夫を行う必要がある。
- ③ 遠投力、瞬発力、持久力には依然として課題があり、淀四ギネスの種目・時間の改善等が必要である。

○御指導いただいた先生方

東京学芸大学 教育学部教授 松田 恵示 先生 世田谷区立 明正小学校長 寺村 尚彦 先生
 新宿区教育委員会指導主事 小林 力 先生

○研究に携わった教職員(◎は研究推進委員長 ★は研究推進委員)

現職員	校長	白倉代助	副校長	明石真吾	少人数	★安田真理	旧職員	星芝卓郎
1年	竹山朱美	後藤藍子	6年生	◎小林周平	★久保田恵美			大槻 悠
2年	★篠宮亜由美	渡部 透	音楽	坂本英昭	図工	峰岸志保		大澤珠希
3年	大守 泉	石坂利美子	日本語	松尾尚城	養護	重田佳代		山本真梨
4年	★牧富貴子		体育講師	志村 祥	事務	山口孝弘		古川光子
5年	嘉門克文	学習指導支援員		阿部和美	栄養士	大西夏子		大橋 実